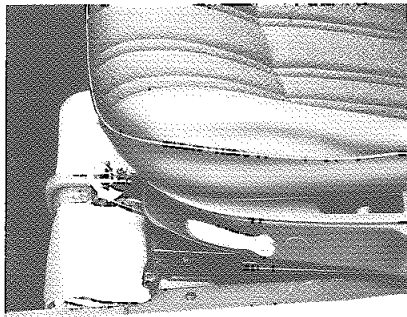


車の簡単な手入れと処置

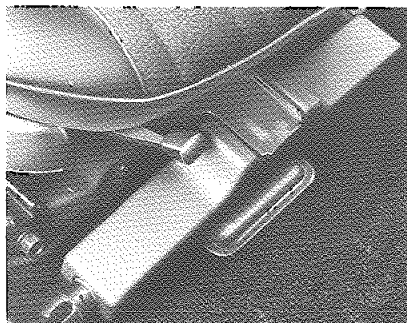
工具とジャッキ

■格納位置

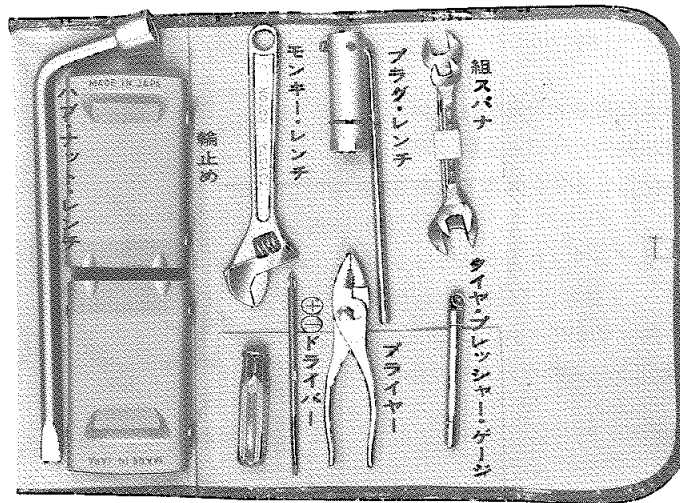
工具



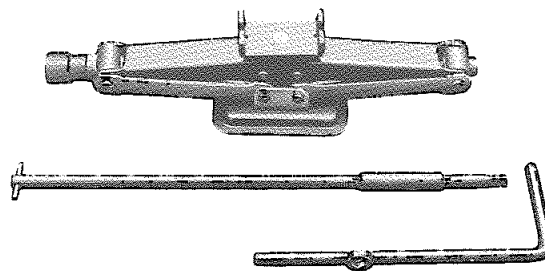
ジャッキ



工具



ジャッキ

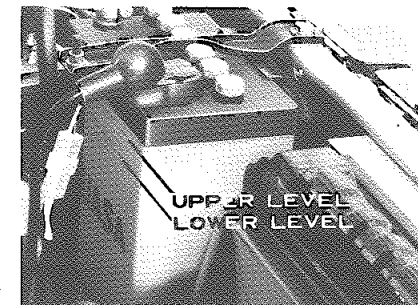


バッテリー液の補給

バッテリー液の量

バッテリーの中の電解液は使っているうちに蒸発して減ります。

バッテリー・ケースは半透明になっていますので液量は外から点検できます。液面が、UPPER LEVELとLOWER LEVELの間であればよく、少ないときは蒸留水を補給してください。



冷却水の交換

マークIIには、必ずロング・ライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロング・ライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年または40,000kmで交換してください。交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

- 1 エンジン・ドレイン・コック、ラジエーター・ドレイン・コックをはずし、冷却水を全部出します。
- 2 水道の水でラジエーター内を洗浄しエンジン・ドレイン・コックとラジエーター・ドレイン・コックを取り付けます。
- 3 ロング・ライフ・クーラントの注入量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度	-15℃まで	-38℃まで
ロング・ライフ・クーラントの濃度	30%	50%
参考	冷却水量	8.0ℓ

冷却水の補給

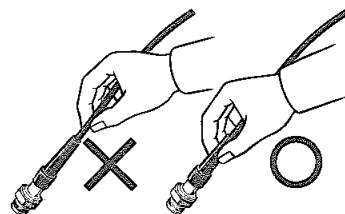
冷却水を補給する場合は左記の表の割合でロング・ライフ・クーラントを補給してください。

★注意

1. 新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが異常ではありません。
2. 補給はリザーブ・タンクに行なってください。LOWとFULLのレベルの間に保ってください。FULL以上は入れないでください。

プラグ・コードおよび、スパーク・プラグの取り扱い

- 1 プラグ・コードを取りはずす場合は、キャップ部を持って取りはずしてください。



- 2 スパーク・プラグを交換する場合は、指定のものをご使用ください。

(36頁参照)

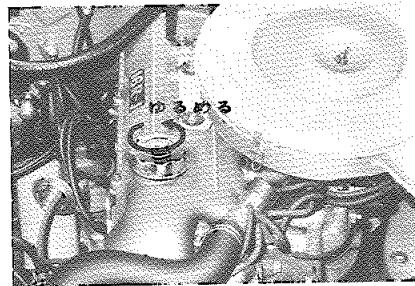
★注意

コードの中間を持って引っぱると断線のおそれがあります。

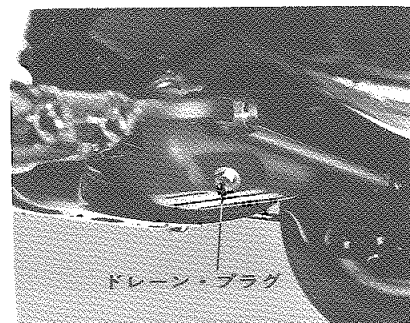
エンジン・オイルの交換

新車時第1回目の交換は3か月または、5,000km時、2回目からは6か月または、5,000kmごとに交換してください。

- 1 フィラー・キャップを取るか、エンジン・オイル・レベル・ゲージを抜きます。



- 2 エンジンのドレイン・プラグをはずしてオイルを出します。



3 エンジンのドレイン・プラグを取り付け、オイルを注入します。

オイルはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

オイルはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

キャッスル・モーター・オイル(SD)SAE30

キャッスル・モーター・オイル・クリーン・スーパー(SD)20W-40

キャッスル・モーター・オイル・スペシャル(SD)20W-40

キャッスル・モーター・オイル・ゴールデン・スペシャル(SD)10W-40

キャッスル・モーター・オイル・スーパー・デラックス(SE)10W-50

API基準, SC, SD, SE相当

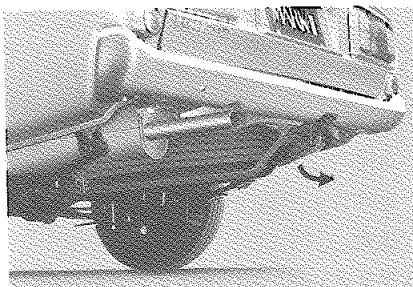
パンクの処置

■パンクの処置

車を道路の左はしによせて

1 工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。

2 スペア・タイヤの取り出し方

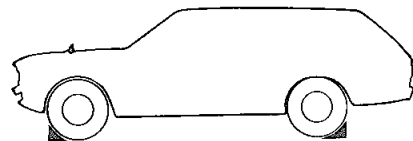


ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。

スペア・タイヤ・キャリアをそっとおろし、スペア・タイヤを取り出します。

盗難防止のため、錠前などで施錠することもできます。

3 輪止めをします。



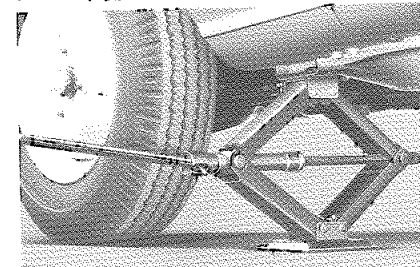
左側パンク時……右側前後のタイヤ
右側パンク時……左側前後のタイヤ

4 ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤのボデーの下に置きます。

5 ホイール・キャップをドライバーではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。

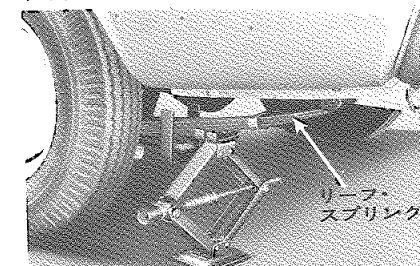
6 ジャッキをセットします。

フロント側



サイド・レールの切り欠き部にジャッキの受けをセットします。

リア側



リーフ・スプリングにジャッキの受けをセットします。

★注意

ジャッキは地面の平らで安定できる所にセットしてください。

7 タイヤが、がたつかない程度にハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。

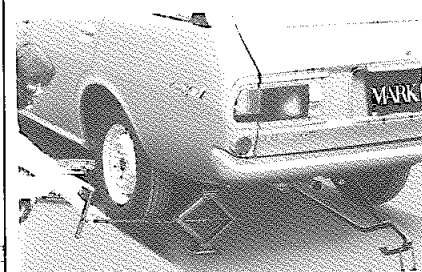
8 タイヤと路面とが少しあくまでジャッキ・アップします。

★注意

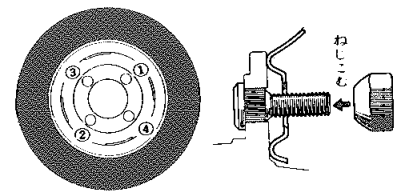
ジャッキ・アップしてからは車の下にもぐらないようにしてください。

万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

9 ナットをはずし、タイヤを取りかえます。



10 ナットのテーパ部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤがガタつかない程度までナットを締めます。



- 11 ジャッキをはずし、ナットは図の数字の順序で2〜3度にわたり、ハブ・ナット・レンチを使用して手でいっぱい締め付けます。

●注意●

レンチを足で踏んだり、パイプ等を使用して必要以上に締め付けしないでください。

- 12 タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップをとりつけます。

- 13 工具ジャッキを片づけましょう。

- 14パンクしたタイヤを積みましょう。スベア・タイヤの空気圧は規定空気圧より少し高めにしておきましょう。

タイヤ・チェーン

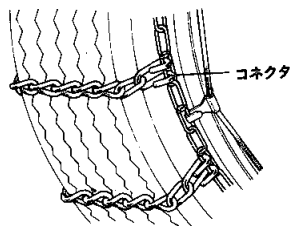
タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

＜取り付け方＞

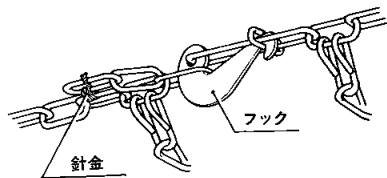
- 1 前輪に輪止めをし、後輪をジャッキ・アップします。

左側ジャッキ・アップの時…右側前後のタイヤ
右側ジャッキ・アップの時…左側前後のタイヤ

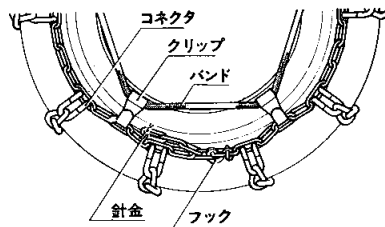
- 2 コネクタの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。



- 3 チェーンの両端をいっぱい引っぱって内側から連結します。余ったチェーンは(ボデーに当るのを防止するために)図のように針金で結びます。



- 4 チェーン・バンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンに掛けます。



- 5 ジャッキをおろし輪止めをはずします。

＜取りはずし方＞

- 1 チェーン・バンドをはずし、針金をとりフックは、内側から先にはずします。

- 2 車を少し動かし、チェーンを取り出します。

●注意●

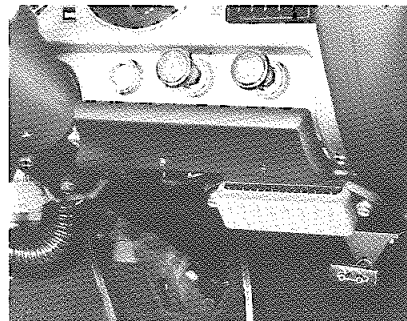
1. タイヤ・チェーンは、車のタイヤ・サイズに合ったものを使用してください。

2. タイヤ・チェーンを装着して悪路を走行する場合は、次の速度で走行してください。

雪路、凍結路……………30km/h以下
普通路……………50km/h以下

ヒューズ、ランプ類の交換

＜故障の調べ方＞



運転席右足もとのヒューズ・ボックスのふたにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズ切れと考えられます。

1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

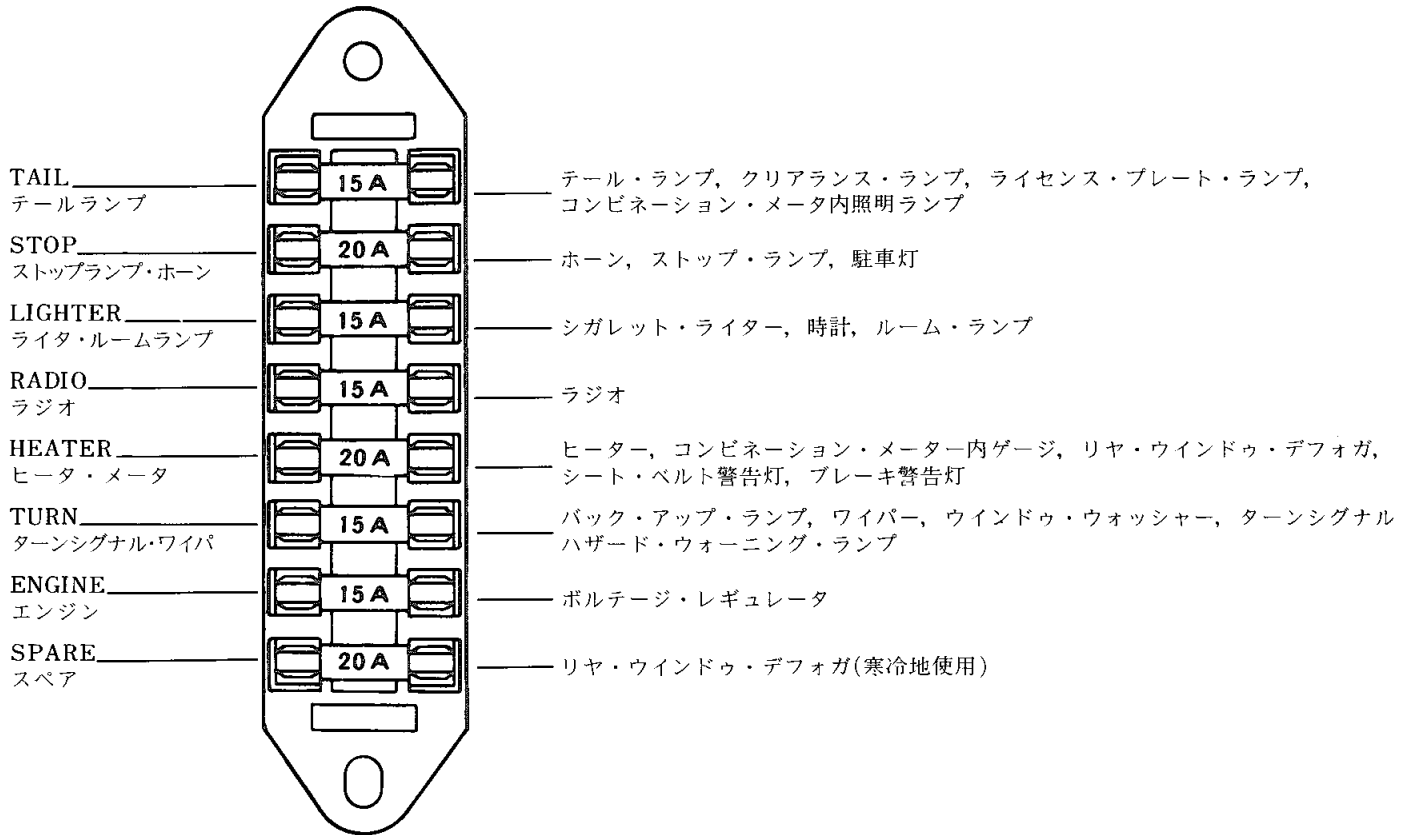
＜ヒューズの交換＞

1. ヒューズ・ボックスのふたを取ります。
2. ヒューズをはずします。
3. 切れたものと同容量のヒューズと交換します。

何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

断線したヒューズを発見するための一覧表は次ページをご参照ください。

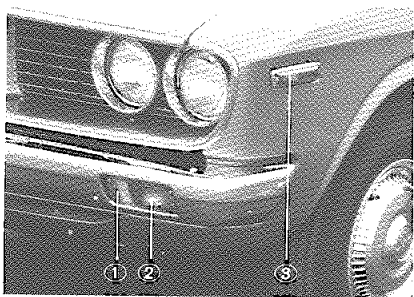
■ヒューズ配線図



- ※1. 不具合のある個所は点灯または作動しません。
 2. スペア・ヒューズはケース・カバーに（スペア・ヒューズ15A, 20Aが各1本）があります。

■ ランプの交換

フロント側



- ①クリアランス・ランプ&
フロント・パーキング・ランプ

7/3.4 W

- ②フロント・ターン・シグナル・ランプ&
ハザード・ウォーニング・ランプ

23 W

- ③サイド・ターン・シグナル・ランプ

8 W

バルブ交換はレンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押し込んで左へ回してははずします。

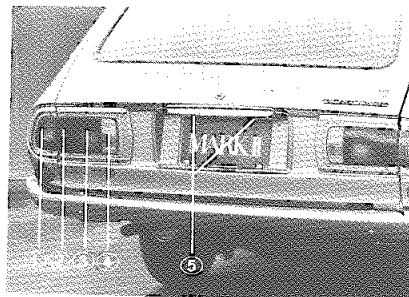
バルブをはめるときは、バルブをいっぱい押し込んで右に回してください。

ダブル・フィラメント・バルブは、ロック・ピンの位置が左右ちがいますのでご注意ください。

★注意

ソケットおよび接点部の錆、汚れは取ってください。

リヤ側



- ①テール&パーキング・ランプ

7/3.4 W

- ②ターン・シグナル・ランプ

23 W

- ③ストップ&テール・ランプ

23/8 W

- ④バック・アップ・ランプ

23 W

レンズ表面のネジをはずしてランプ・ソケットを左に回してははずします。

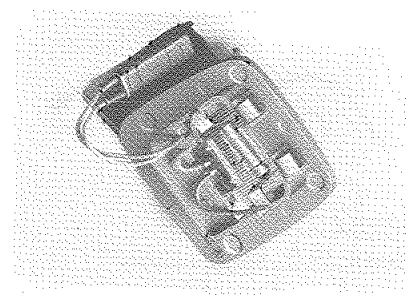
はめるときは、切り欠きをあわせて右へ回します。パーキング・ランプは引っぱるとははずれます。

- ⑤ライセンス・プレート・ランプ

7.5 W

カバーのネジ2個所をはずしてレンズを取り、バルブをいっぱい押し込んで左に回してははずします。

ルーム・ランプ



ルーム・ランプ 10 W

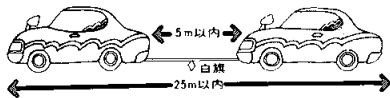
バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っぱり出してウラ側からバルブを取りはずします。

デッキ・ルーム・ランプ 10 W

手でランプ・カバーをはずし電球を交換します。

けん引について

〈けん引のしかた〉



けん引車は急発進、急停車をしないようにし、けん引される車はけん引車のストップ・ランプに注意し常にロープがたるまないように気をつけましょう。

★注意

1. けん引中でもキーはLOCKの位置まで回さないでください。
ハンドルが切れなくなり危険です。
2. エンジンが停止していると、いつもよりブレーキの効が悪くなります。
できる限り、エンジンを始動してけん引してください。
3. トランスミッション内部に故障があり、動かすと不具合があると思われるときは、後輪をつり上げるかプロペラ・シャフトをはずしてからけん引してください。

外装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときはカーシャンプーを使用しましょう。

また塩分が付着したときは早く洗車しましょう。ワックスがけはボデーにツヤのなくなる前に適時行なってください。

〈洗車方法〉

1. 下まわりを洗いましょう。
2. スポンジかセーム皮で水量をたっぷりにして洗いましょう。
3. 汚れのひどいときは、必ずカーシャンプーを使用してボデー温度が体温以下になってから洗いましょう。
4. 塗面に、はん点が残らないよう十分水分をふきとりましょう。

〈ワックスがけ〉

1. 1カ月に1度または水のはじきが悪くなったとき行なってください。
2. ワックスがけはボデーが体温以下になってから行なってください。
高温では塗装面が柔らかくなっていますからしみになる恐れがあります。
3. 使用方法はワックスに記されていますからよく読んでお使いください。

4. ワックスは、トヨタ純正品で下記の名称のものをお使いください。

オートワックス・101

オートワックス・201

オートワックス・301

オートワックス・スピーディー・101

オートワックス・スピーディー・201

★注意

1. ワックスの中にコンパウンド(細かい砂)の入っていないものをご使用ください。
コンパウンドの入っているワックスを使用すると塗装の表面に細かい傷が残ります。
2. エンジン・ルーム内の電気系統に、水をかけないように注意してください。
エンジン始動不良の原因になります。